

◆年賀状の発送

元旦早々の賀状は気分のよいものです。他県等も含めれば二十日ごろまでに出せば無難です。

喪中欠札のハガキは、年始郵便の受付前に出すべきでしょう。

◆すす払い

年末に一年の汚れを払い清めたところに年神さまを迎えるといふ、ひとつ年の信仰にもつながっている年末行事です。

しかし多忙な現代社会ではなかなか一日で家じゅうを清めるということは困難ですので、片付け仕事は少しずつ済ませておくのがよいでしょう。

なおゴミの収集やし尿のくみ取り日程を十分に考慮しておく必要もあります。

◆正月料理、飾りつけ

正月用品、お歳暮用品などの買い物もたくさんあります。

買う品物によつて、どの時期が一番よいかを、よく考えて買数などをよく考えて準備する必要があります。

おせち料理は、前もつて来客玄関や床の間の飾りつけも住まいにふさわしい飾り方を考えましょう。

正月には玄関にも生け花を飾

り、きれいにしておきたいもの

です。

神棚の神や鏡もちも忘れずに供えましょう。しめなわを張る場合は、右に太いほうがくるようになります。

仏壇もきれいにして、花やお供え物も新しくしたいものです。

あすは元旦と思うと氣もあせります。夕方になってからやり残しや、買ひ忘れを思ひ出すようなことのないよう、一日のプランを前日に十分に立てておきましょう。

大清掃や迎春用のしたくは昼間にすませ、夜になつたら晴れ着の点検ぐらいにして、のんびりとテレビでも樂しみながら年越しそばをすりり、ゆとりをもつて除夜の鐘をききましょう。

年越しそばは「細くとも長くしあわせが続くように」との祈りがこめられています。

また除夜の鐘は百八つ、ほん

年末のくらし



上手なお酒の飲み方

健康アドバイス

アルコールを飲む機会が増えます。

今回は上手なお酒の飲み方についてお話しします。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

豊富なものを肴にすると、悪酔い、二日酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を

つくことは、アルコール性の肝

臓病を防ぐために必要です。

飲み過ぎた次の日は、絶対に酒

を飲まないようにしましょう。

アルコールは、他のアルコールを飲む機会

が多くなると、悪酔いの予防となり内臓の負担を軽くします。

アルコールの適量は、晚酌なら

清酒一合、ビール大一本、ウイス

キー・ブル一杯位が良いでしょう。

また週二回は酒を飲まない日を